

エイリアンプランツ班メンバーによるうつしの祭の感想

エイリアンプランツ班①さん

今回初めてのうつしの祭でクレソンや竹を使った加工品をたくさん作りました。学校の外に出て行動することが多く、発表練習が追いつかなかったりすることもあったけれど担当の先生と原稿を作り、空いている時間を使って自分から練習に取り組んで、本番悔いが残らないように練習しました。たくさん練習して本番がうまくできてよかったです。そして、はじめてのうつしの祭ということもあり緊張で声があまり出なかったけれど6月からたくさん準備してきたから終わったあとの達成感がとても強かったです。また、初めてでいろいろな不安が込み上げてきたけれどそんな中で先輩が優しく寄り添ってくれて頑張ろうと思うことができました。来年は学年が上がるので今の三年生を見習って後輩に優しく寄り添ってあげたいです。

エイリアンプランツ班②さん

私はエイリアンプランツ班として今まで活動してきました。班長としての自覚を持ち、3人全員で協力して現地調査などを行うことができました。地域の人にしっかり発信できるようにスライドをわかりやすくまとめ、発表練習をすることができました。また、前年と違った新しいことにチャレンジができたので良かったです。初めてのうつしの祭実行委員だったけれど、副委員長として委員長を支え後輩を引っ張って行くことができたのでとてもいい経験になった。

最後のうつしの祭を全力で盛り上げ、楽しむことができて、より一層全員の絆が深まったと感じました。

エイリアンプランツ班③さん

去年はクレソンだけを調べるだけでしたが、今年は外来植物も調べ、竹灯籠を作ったり、クレソンを使ってたくさん料理を作りました。

今年度のうつしの祭では人数が少ない中みんなが素早く行動し一致団結できたことでとても良いうつしの祭にできたと思います。